



プロジェクト発表会

第72回日本学校農業クラブ全国大会 兵庫大会

# 農置 報 援 会 後 文 体

No.32 2022.3.1



# 置農生の飛躍①

## ホッケー部

顧問 小池 公善

大木 裕輔  
梶沢 歩

日頃より、ホッケー部の活動に對しまして、多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度、富山県で行われたインターハイ、岐阜県で行われた全国高校選抜の2つの全国大会に出場することができました。国体関係は、県予選、東北総体を含め、またもやコロナウィルス感染拡大のために中止となりました。結果から言えば、2大会ともにベスト8。目標に掲げた「ベスト4以上」には手が届きませんでした。やはり、4つの壁は厚かった。チャンスはあったがものにできなかったというところ。今年度は、外部コーチをさらに充実させるなど、チーム力を上げるために我々スタッフはいろんな面から選手をサポートしました。そして、選手たちもそれに応えてくれるように、一生懸命頑張りました。でも、おそらく、全国のトップチームたちはそれを超える力を持ち、努力をしていたのだと思います。私は悔いはありませんが、選手たちはどうだろう。やはり悔しいかもしれませんが、活動や成績には納得でき

るこの1年だったのではないのでしょうか。しかし、言い換えれば私の心残りは国体が中止となり、出場の機会がなかったことです。コロナによるスポーツへの影響は計り知れません。このことはその一つであり、我々に限ったことではないので、これらはどうすることもできません。

3年生は、これまでホッケー部活動で心技体を培い、そして様々な経験、仲間という財産を作り得ることができたと思います。このことを、これからの人生に生かしてくれることを期待します。1、2年生は伝統を引き継いで、新たな置農ホッケーを作り上げてほしいと思います。

全国大会出場が選手にもたらしたもの。それは、一人一人がその瞬間、その場所でき得られない経験と、大きな目標に向かって一緒に力を合わせて戦った選手、マネージャー、スタッフ、そして支えてくださった保護者の皆様との絆だと思います。これからまた、そんな絆を作っていくために頑張ります。



### 全国大会を終えて

食料環境科3年 小林 一成

今年は様々な場面でコロナ禍の大きな影響が続き、多難の一年でした。

インターハイでは、感染症予防の観点から決勝戦を行わず、二校が優勝する異例の形式が執られました。私たちはこれをチャンスと捉えて大会に臨みましたが、残念ながら思うような結果が出せませんでした。更に、このあと国体も中止となってしまうこともあり、それからしばらくは苦しい時間が続いたことを覚えています。

そしてようやく迎えた全国選抜は、これまでの集大成となる最後の舞台であり、私たちは全力で戦いました。結果は惜しくもベスト8でしたが、全員が諦めずに戦い抜くことが出来ました。こうして一年間をめぐずに戦い抜くことが出来たのは、私にとって大きな財産です。

これから3年生は、ホッケー部での経験を糧にそれぞれの進路に向かいます。私もこれまでお世話になった先生方や家族、仲間への感謝を忘れず、ホッケープレーヤーとして更に精進していきます。そして、いつか同期の皆と再会し、戦えたら嬉しいですね。



## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会ホッケー競技  
日程：令和3年5月8日  
会場：川西町民総合運動公園ホッケー競技場（人工芝S）  
第1位 14-0 米沢興譲館高校

○令和3年度山形県高等学校総合体育大会ホッケー競技  
日程：令和3年6月5日  
会場：県立米沢商業高等学校ホッケー場（人工芝S）  
第1位 10-0 米沢興譲館高校

○令和3年度全国高等学校総合体育大会東北地区予選会兼第50回東北高等学校ホッケー選手権大会  
日程：令和3年6月19日  
会場：宮城県栗原市多目的競技場（人工芝W）  
第1位（2大会連続3回目） 3-1 沼宮内高校

○令和3年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会  
日程：令和3年8月13日～18日  
会場：富山県小矢部ホッケー1場（人工芝W）、小矢部市野外運動広場（人工芝S）  
ベスト8 1回戦 3-2 沼宮内高校  
2回戦 6-1 飯能南高校  
準々決勝 0-3 今市高校

○令和3年度第33回山形県高等学校新人体育大会  
日程：令和3年10月9日  
会場：県立米沢商業高等学校ホッケー場（人工芝S）  
第1位 7-1 米沢興譲館高校

○令和3年度全国高等学校選抜ホッケー大会東北地区予選会  
日程：平成30年10月29日～31日  
会場：川西町民総合運動公園ホッケー競技場（人工芝S）  
第1位（3年連続5回目） 準決勝 13-1 不来方高校  
決勝 3-2 沼宮内高校

○第53回全国高等学校選抜ホッケー大会  
日程：令和3年12月23日～27日  
会場：川崎重工ホッケースタジアム（人工芝W）  
ベスト8 2回戦 1-1 須知高校  
5SO 4 岐阜総合学園高校  
準々決勝 2-3

準々決勝 2-3 岐阜総合学園高校

## 置農生の飛躍②

# むくり鮎研究チーム

奇跡を起こした

むくり鮎プロジェクト

実習講師 江本 一男

本校では、一昨年に開催された農業クラブ南東北大会に、遠藤忠樹先生が指導された「ニオイ木の研究」が全国大会出場を果たしていたが、その前はといえば平成16年や14年まで遡らなければならぬ。意見発表では、平成12年以来全国大会出場10回、延べ12名。全国大会での最優秀賞受賞が4回という輝かしい実績を残している置農でも、プロジェクト発表での全国出場は難しかったのである。

その高く、厚い壁を「むくり鮎プロジェクト」の食料環境科メンバーが破ってくれた。この研究は、貝沼新八先生が種をまき、その後4年間にわたって生徒たちが引き継いできたプロジェクトだった。鮎のふ化や餌付け、養殖や調理に取り組み、越冬飼育や食育活動、弁当作りや調理講習などの研究に、幅広く粘り強く取り組んだ結果、奇跡ともいえる大きな成果を生んだ。そして何より、新型コロナウイルスが放出される中、真夏の暑さにもめげず頑張りぬいた、高野瑚々亜さんや青木祥汰くんたちの頑張りや金宇塔を打ち立て

た。プロジェクト発表は擲りレーが私の持論だ。先輩から後輩へ引き継がれる伝統が置農の強さだと、改めて知らされた。

## 農業クラブ全国大会に

出場して

食料環境科3年 高野瑚々亜

私たちは、「上杉鷹山公から受け継がれた、むくり鮎」を守れ」という発表題で東北大会に挑みました。6月の強化練習会から私は発表者になり、それから3か月間は発表練習等に追われました。これと並行して、食育人形劇などの普及活動も続けましたので、夏休みはほとんどプロジェクトのために費やしました。そして迎えた東北大会。会場の宮城県が新型コロナウイルス感染の緊急事態宣言発出という中で開催されました。コロナ感染に不安を抱くメンバーが出て、最終的には青木君と2名での発表になりました。他県の発表は6から8名と人数が多く、私たちは「最優秀は無理」と感じながらも、最高の発表はできたと感じました。そして、結果は思いがけず最優秀賞。全国大会兵庫大会への出場を勝ち取りました。10月26・27日に開催された全国大会は、兵庫県丹波市での発表でした。私たちの学年はコロナ禍で修学旅行も行けなかったもので、初めての遠出にワクワクしました。しかし、リハールは緊張感があり、本番の発表では極限まで緊張が高まりました。何とか無事に発表を終え、帰途に就きましたが、入賞はできませんでした。でも、進学や就職の取り組みと並行した東北大会と全国大会は、本当に大変になったが貴重な経験になったと思っています。



# 野球部

顧問 阿部 勇郎  
菅野 拓  
安部龍之助

本年度も野球部の活動に際し、多大なご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

今年度の置農野球部は、三年生五名、二年生二名、一年生三名、計十名で活動を行ってきました。他校に比べ少ない人数の中で、チーム一丸となり一年間練習に励んできました。コロナ禍の状況の中、思うような練習をすることができない状況ではありましたが、個人の特徴を伸ばすことに重きをおいて練習に



取り組んでできました。結果に上げることはできませんでしたが、野球に対して真摯に向き合うことができました。応援していただき誠にありがとうございました。秋大会では、連合チームとして出場し、山形県初の連合チームでの県大会出場を勝ち取ることでできました。現在はオフシーズンであり、一・二年生の選手四名が夏の甲子園予選に向けて真摯に野球と向き合っています。非常に少ない人数ではありますが、一日でも長い夏を過ごすために精一杯精進してまいります。来年度もご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 大会結果報告

### ○第68回春季東北地区高等学校野球山形県大会地区予選

日程…令和3年5月1日～9日  
会場…高畠球場・向山球場  
1次予選  
対 米沢東 10―1 勝  
2次予選  
対 米沢興譲館 16―2 負

### ○第103回全国高等学校野球選手権山形大会

日程…令和3年7月9日～25日  
会場…庄銀・日新製薬スタジアム山形・新庄球場・鶴岡ドリームスタジアム  
対 米沢興譲館 14―1 負

### ○第74回秋季東北地区高等学校野球山形県大会地区予選

日程…令和3年8月28日～9月5日  
会場…高畠球場・向山球場  
1次予選  
対 米沢商業 9―7 勝  
対 米沢工業 10―0 負  
2次予選  
対 米沢東 7―5 勝  
日程…令和3年9月18日～10月3日  
会場…庄銀・日新製薬スタジアム山形  
対 山形中央 11―2 負

## 陸上競技部

顧問 上野 真二  
齋藤 慎吾  
木津 愛野

### ○第74回秋季東北地区高等学校野球山形県大会

日程…令和3年9月18日～10月3日  
会場…庄銀・日新製薬スタジアム山形  
対 山形中央 11―2 負

体育文化後援会特別会員並びに賛助会員の皆様には、日頃より物心両面からの御支援を頂き、心より御礼申し上げます。今年度の陸上競技部は、3年生2名、2年生4名、1年生4名の総勢10名で活動しました。今年度はコロナ禍にありながらも例年通りの大会が開催され出場することができました。しかし、大会への参加はコロナ禍以前のようにはいかず、2週間前からの検温、レース・投てき前後のマスク着用などに感染対策を徹底するよう求められました。試合以外のことにも気を配り、選手たちへの精神面に少なからず影響を与えていたと思います。一部地区では地区総体が中止となり、県高校総体には全選手がエントリー出場できると

いう異例の大会開催となり、本校部員にとっては日頃の成果を発揮する貴重な機会を得ることができました。また、県高校新人大大会では日帰りで参加が求められ、出場生徒は移動への疲労から思い通りのレース・投てきができませんでした。来年度の大会もコロナ禍での開催が想定されます。日頃から精神面を鍛え体調管理を続けていき、自己ベストが出せるようなコンディショニングをしていきたいと思っています。来春の大会では一人一人が自己ベストを更新し、県大会・東北大会へと出場できるよう部員一人一人となってトレーニングに励みたいと思います。今後ともご支援・ご声援よろしくお願い致します。

## 大会結果報告

### ○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会陸上競技大会

日程…令和3年5月8日～9日  
会場…米沢市宮陸上競技場  
男子やり投げ  
第4位  
食料環境科2年 淀野 海翔  
女子400m  
第7位  
食料環境科3年 佐藤莉々輝  
女子円盤投  
第2位  
食料環境科3年 川崎 莉桜  
生物生産科3年 菅野 倅成  
第3位  
食料環境科2年 安部 善映  
女子やり投げ  
第1位  
食料環境科2年 安部 尋

### ○令和3年度置賜地区高等学校新人体育大会陸上競技大会

日程…令和3年8月21日～22日  
会場…米沢市宮陸上競技場  
4×100m 第6位  
食料環境科1年 菅野 倅成  
食料環境科2年 淀野 海翔  
食料環境科2年 安部 善映  
食料環境科2年 加藤 颯人  
男子やり投げ  
第2位  
食料環境科2年 淀野 海翔



### 山形県予選会置賜地区予選会

日程…令和3年6月26日  
会場…米沢市宮陸上競技場  
女子砲丸投  
第2位  
食料環境科1年 舟越 美咲  
第4位  
園芸福祉科1年 松田 瑞姫  
女子円盤投  
第1位  
生物生産科3年 川崎 莉桜  
女子やり投げ  
第1位  
食料環境科2年 安部 尋



|     |         |    |    |
|-----|---------|----|----|
| 第8位 | 食料環境科2年 | 安部 | 善映 |
| 第4位 | 女子砲丸投   |    |    |
| 第4位 | 食料環境科1年 | 舟越 | 美咲 |
| 第1位 | 女子円盤投   |    |    |
| 第1位 | 食料環境科1年 | 安部 | 尋  |
| 第1位 | 女子やり投   |    |    |
| 第1位 | 食料環境科1年 | 安部 | 尋  |
| 第5位 | 食料環境科1年 | 舟越 | 美咲 |
| 第5位 | 食料環境科1年 | 安部 | 尋  |
| 第8位 | 食料環境科2年 | 淀野 | 海翔 |
| 第7位 | 女子円盤投   |    |    |
| 第7位 | 食料環境科2年 | 安部 | 尋  |
| 第8位 | 女子やり投   |    |    |
| 第8位 | 食料環境科2年 | 安部 | 尋  |

### ○第55回山形県高等学校新人陸上競技大会

日程…令和3年9月17日～20日  
会場…酒田市光ヶ丘陸上競技場

## 弓道部

顧問

菅間 裕一

佐野 雅哉  
川原吹いつみ

体育文化後援会々員の皆様には、日頃より多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度の弓道部は、部全体の目標を県大会優勝、東北大会出場とし、それに向かう各自の目標を明確に設定することで、意欲的な練習がスタートしました。昨年同様、コロナ禍の中で練習も制限を受けることとなり、自分自身が満足できる練習をすることができない状況で、3密に配慮しつつ個人の弱点を補強することに重きを置いて練習に取り組んできました。

そんな中で一年生女子一名の新入部員が入部し、三年生男子二名、二年生男子一名、二年生女子四名の計八名で活動をスタートしました。多くの大会が中止されましたが、三年生は、最後の高校生活で何とか県大会



に出場したいと五月の地区大会に向けて練習に励みました。残念ながら三年生は県大会出場を逃しましたが、二年生の女子一名が個人で県大会に出場することができました。三年生引退後は、一・二年生が日々の練習に意欲的な取り組みを見せ、少しでも早く上達できるように努力を重ねました。

現在、高体連の大会において男子は団体を組むことができないため、来年度は部員数を増やして上位大会に進出することを目指し、射形に拘りながら稽古に精進してまいります。



## 大会結果報告

○令和三年度置賜地区高等学校総合体育大会兼山形県高等学校総合体育大会置賜地区予選会

日程…令和3年5月8日(出)

9日(回)

会場…米沢市武道館弓道場  
女子個人 県大会出場  
食料環境科2年 菅野 桃花

### ○「あやめ杯」弓道大会

日程…令和3年6月13日(日)  
会場…長井市武道館弓道場

男子団体 優勝

細谷 航・皆川 太平

男子個人 優勝 横山 明良  
3位 皆川 太平



## 柔道部

顧問

吉田 康輔  
大場 健矢

今年度の新入部員は男子5名となり、2年生女子1名、3年生女子2名の計8名での部活動を行いました。今年度は5月から新型コロナウイルスへの感染防止対策を取りながら大会が開催されることになりました。5月の地区総体から団体戦に男女それぞれ出場することができました。結果は男子3位女子2位とベストを尽くしましたが、優勝校・個人との差を痛感させられる試合でした。その差を埋めるべく日々の練習に取り組みしましたが、新チームでの最初の大会

となるはずだった地区新人戦が中止となり、場数を踏めないまま地区選手権に臨みました。個人戦では3階級を制覇することができましたが、チーム力を図る団体戦では第3位と目標としていた決勝までは進むことができませんでした。ここでの課題を克服すべく練習を行いました。

県高校新人柔道大会では個人1名がベスト8に入賞することができましたが、やるべきことが明確になった大会でした。今年度最後の大会となる県高校柔道選手権大会では入賞こそできませんでしたが、今までの最高の内容の試合ができましたが、課題を改善させることまでできていかなかったと感じております。

今年度の練習は、部員が増え昨年度よりは活気ある練習ができるようになってきました。新型コロナウイルス感染防止のため、練習内容も限られますが、その中でできることを探しながら日々精進していきたいと考えています。出稽古も取り入れていき、さらに活性化したいと考えております。生徒には強い信念をもって練習し、弱い自分に打ち克つ心が必要なので練習の成果が十分に発揮できるように指導強化していきたいと思っております。部員不足という大きな課題を筆頭に様々なことに真摯に向き合い、一歩一歩努力を重ねて行きたいと思っております。

これまで応援してくださいました体育文化後援会の皆様方に感謝とお礼を申し上げます。また今後の活動に際しましてもご

協力のほどよろしくお願いいたします。



## 大会結果報告

### ○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会柔道競技

日程…令和3年5月8日

会場…川西町体育館柔道場

男子団体 第3位

男子個人

第3位 生物生産科1年 黒澤 青空

第3位 生物生産科1年 渡部 倭

女子団体 準優勝

女子個人

第1位 生物生産科2年 廣野 雅

第2位 生物生産科3年 小田 なな

第2位 生物生産科3年 吉田 美咲

日程…令和3年6月4日～6日

会場…山形県体育館

男子団体 1回戦敗退

男子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

男子個人 1回戦敗退

生物生産科1年 黒澤 青空

1回戦敗退

食料環境科1年 大浦 拓馬

2回戦敗退

生物生産科1年 渡部 倭

女子団体 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

1回戦敗退

生物生産科2年 廣野 雅

ベスト8

生物生産科3年 小田 なな

ベスト8

生物生産科3年 吉田 美咲

日程…令和3年6月12日

会場…川西町体育館柔道場

男子個人 第3位

生物生産科1年 黒澤 青空

第2位 生物生産科1年 渡部 倭

生物生産科1年 渡部 倭

女子個人 第1位

生物生産科2年 廣野 雅

日程…令和3年7月17日

会場…山形県体育館

男子個人 1回戦敗退

生物生産科1年 黒澤 青空

1回戦敗退

食料環境科1年 大浦 拓馬

1回戦敗退

生物生産科1年 渡部 倭

女子個人 2回戦敗退

生物生産科2年 廣野 雅

日程…令和3年11月20日～21日

会場…山形県体育館

男子団体 1回戦敗退

男子個人 1回戦敗退

生物生産科1年 黒澤 青空

1回戦敗退

生物生産科1年 渡部 倭

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

### ○第44回全国高校柔道選手権置賜地区予選

日程…令和3年10月2日

会場…米沢市営体育館武道場

男子団体 第3位

男子個人 第1位

生物生産科1年 黒澤 青空

第1位 生物生産科1年 渡部 倭

第3位 生物生産科1年 渡部 倭

生物生産科1年 我妻 好誠

女子個人 第1位

生物生産科2年 廣野 雅

日程…令和2年11月6日～7日

会場…新庄市体育館

男子団体 1回戦敗退

男子個人 1回戦敗退

生物生産科1年 黒澤 青空

1回戦敗退

食料環境科1年 大浦 拓馬

1回戦敗退

生物生産科1年 我妻 好誠

2回戦敗退

生物生産科1年 渡部 倭

女子個人 1回戦敗退

生物生産科2年 廣野 雅

日程…令和3年11月20日～21日

会場…山形県体育館

男子団体 1回戦敗退

男子個人 1回戦敗退

生物生産科1年 黒澤 青空

1回戦敗退

生物生産科1年 渡部 倭

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

女子個人 1回戦敗退

## 男子バスケットボール部

顧問 竹田 倉一

三浦 秀夫

大友 康平

体育文化後援会賛助会員、特別会員の皆様には、日頃より物心両面に渡り多大な御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度、先輩が引退してから選手5人、マネージャーが2人というギリギリの人数でがんばってきた。バスケットは5対5でやるスポーツ、「替えがいない」というのはとても大変なことである。ファウルをしてもだめ、けがをしてもだめ、体調を崩してもだめ、赤点を取ってもだめという状況は強豪校とはまた違った苦労があり、選手・マネージャー・顧問、チームみんなが苦労してきた。そういった中、そしてコロナ禍が収束しない今年度は中止になったものもあったが、各種大会に出場することができたので、選手たちにはとても良い機会になったと思う。私が一番印象に残っているのは、負けていたチームに勝てるようになったことだ。少ない人数でも自分たちで考えながら腐らず、楽しくバスケットをやってきた選手たち。そうした選手を見て「楽しそうだから」と途中から入ってくれたマネージャー12人。今まで積み重ねてきたことが結果になり、自分たちが成長できていると実感できる瞬間だったと思う。

新チームになり、経験者はいないものの1年生がたくさん入ってくれた。2年生も含め人間的な幼さはかなり見られるものの、チームの雰囲気は良い。経験者が1人というチームで、



大会では勝てない日が続いているが、諦めず、腐らず練習をすることで結果が出るところにも負けないように粘り強く指導していきたい。

## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校体育大会

決勝トーナメント一回戦  
対 九里学園 70―65 勝

同 二回戦  
対 米沢中央 26―160 敗退

○令和3年度第72回県高等学校総合体育大会

決勝トーナメント一回戦  
対 新庄神楽 61―131 敗退

○2021年度第32回県高校バスケットボール選手権大会置賜地区予選

決勝トーナメント一回戦  
対 高畠 32―94 敗退

○令和3年度県高等学校新人体育大会置賜地区予選会

決勝トーナメント一回戦  
対 九里学園 44―111 敗退

○置賜地区U18バスケットボールリーグ戦（男子3部）

リーグ戦①  
対 高畠 37―95 負け

リーグ戦②  
対 長井工業 25―125 負け

リーグ戦③  
対 九里学園 28―88 負け

## 女子バレーボール部

顧問 加藤 啄弥  
今野 友美

体育文化後援会会員の皆様に



は日頃より多大なるご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今年度の女子バレーボール部は、3年生4名、2年生3名、1年生5名で活動をスタートしました。昨年度は、地区総体、県総体が中止となり、不完全燃焼と悔しい思いをしましたが、先輩方の思いを引き継ぎ、日々の練習に励んできました。今季は「公式戦1勝」を目標に、基礎練習やチーム練習を中心にチーム一丸となり取り組みました。その結果、地区大会で1勝しました。県大会へ出場することができました。僅差での勝利となりましたが、これまでの練習の成果を出すことができたのではないかと思います。



3年生が引退し、新チームでの活動がスタートとなりました。「地区順位を上げる」を目標に、部長の永沼友梨亜を中心として、基礎練習から新フォーメーションの練習などに意欲的に取り組んできました。その結果、地区新人戦では、5位と初

## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会

日程…令和3年5月8日～9日  
会場…米沢中央高等学校 7位

○令和3年度山形県高等学校総合体育大会

日程…令和3年6月11日～13日  
会場…東根市民体育館 出場

○令和3年度置賜地区新人体育大会

日程…令和3年11月6日～7日  
会場…米沢中央高等学校 5位



## 男子バレーボール部

顧問 石川 剛士  
鈴木 真人

男子バレーボール部は選手3年生8名、2年生1名、1年生2名、そしてマネージャー2名が所属し、キャプテンの峯田悠人君を筆頭に日々練習に頑張っております。新顧問は2名ともバレー未経験ではありませんが、生徒達はルールから何から一から丁寧に教えてくれる優しいメンバースばかりです。

今年度、実施が心配されていた地区大会、県大会は徹底した健康・衛生管理のもと、何とか開催するに至りました。対外的な練習が困難な中で迎えた試合は選手・顧問ともに緊張しておりましたが、試合が進むにつれて互いに声をかけ合い、かみ合っていく動き。彼らとは3カ月にも満たない練習期間ではありましたが、県大会第一試合を

終えた時に流れ落ちたしよっぱい汗に、彼らの悔しさやバレー競技への思いを感じました。

これら生徒の活動が、このような状況下でも実施できたのは、関係機関の皆様、保護者の皆様のご支援があったからであり、何より一途にバレーに向き合ってきた生徒諸君の地道な活動の賜物と思っています。顧問として、教員として皆さんから学んだことが大変多かったと感じております。

現在は佐藤、大久保、平山の3名で活動は継続し、時には合同チームを組みながら頑張っています。春には多くの部員が入る予定で、最後まで諦めないプレイで会場を大いに沸かせます。どうぞご期待ください。

## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会

日程…令和3年5月8日～9日  
会場…米沢興譲館高等学校

置農 0―2 米沢中央

置農 0―2 米沢興譲館

置農 0―2 長井

置農 0―2 長井工業

最終順位 第6位／6校中

○第72回山形県高等学校総合体育大会

日程…令和3年5月28日  
会場…新庄市民体育館

置農 0―2 新庄北

○令和3年度置賜地区高等学校新人体育大会

日程…令和3年11月6日～7日  
会場…米沢中央高等学校（長井工業との合同チーム）

## 剣道部

顧問 庄司 典仁  
齋藤 曜介

置農・長工

0-2 長井

置農・長工

0-2 米沢興讓館

置農・長工

0-2 米沢工業

体育文化後援会会員の皆様には、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。今年度はコロナウィルス感染対策のガイドライン等に従い、日々の体調管理に注意し、制約があるなかではありましたが、稽古を積むことができました。面マスクやフェイスガード等を利用した稽古は、息苦しさがあり、辛かったとは思いますが徹底して行ってくれました。今年度の剣道部は梅津君（一年生男子）一名での活動となりました。顧問二名との部活動だった為、日々の基本稽古や応用稽古、指導稽古などは精神的にも肉体的にも厳しい場面があったかと思いますが、一年間やりきってくれました。各種大会や練習試合では、コロナウィルスの影響や人数的不利があるからこそ、一度の交流の場を大切にして「剣を交えておしむを知る（交剣知愛）」の精神を磨くことができた一年となりました。冬場は特に筋力トレーニングや基礎練習に力を入れ、春以降に予定される大会に向け、精進していきたいと思えます。

今後も生徒が成長できるよう指導を行うとともに、部員不足等の課題にも取り組み、充実した部活動を行えるよう顧問も努力をしていきたいと思えますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会剣道競技  
日程…5月8日(土)  
会場…高島高等学校  
男子個人 E1 梅津 大陽  
初戦敗退

○令和3年度山形県高等学校総合体育大会剣道競技  
日程…6月4日(金)  
会場…鶴岡市 小真木原総合体育館  
男子個人 E1 梅津 大陽  
初戦勝利  
2回戦敗退

○令和3年度置賜地区高等学校新人大会剣道競技  
日程…9月11日(土)  
会場…置賜農業高等学校  
男子個人 E1 梅津 大陽  
初戦敗退

## 卓球部

顧問 新野 敦  
中川 聡  
岸 淳一郎

今年度の春先は新型コロナウイルスが収まりつつあり、地区高校総体、県高校総体がすべて開催されることになった。3年生の部員は女子3人だけであつたが、しっかりと部員を引っぱってくれた。3年生は毎日部活動を休むことなく、黙々と練習に励んでいたことが思い出される。最後の高校総体は、力を発揮できず敗退となつてしまった場面が見られたが、部長の尾形瑠菜が最後の最後まであきらめず、県大会出場を決めてくれた。この出場が後輩たちに大きな影響を与えてくれたと感じる。3年生の頑張りには、後輩たちにしつかり受け継がれることと思う。

3年生引退後は、男子7名、女子6名で新体制がスタートした。男子部長の池内春日、女子部長の後藤美優を中心に、自分たちが強化すべきことを考え日々の練習に取り組んでいる。これから、個人とチームの目標を部員全員で共有し、日々の練習を大事に、技術面でも精神面でも成長できるよう鍛錬を重ねていきたい。現在は、新型コロナウイルスが再び猛威を振るっている、大会がまた制限されているが、最後の地区総体に向け、チーム一丸となつて前へ前へと進んでいきたい。最後になりますが、体育文化

後援会会員の皆様には、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## 大会結果報告

○令和3年度置賜地区高等学校総合体育大会  
日程…令和3年5月8日～9日  
会場…長井市置賜生涯学習プラザ

女子シングルス

尾形 瑠菜

○令和3年度山形県高等学校総合体育大会  
日程…令和3年6月4日  
会場…山形県総合運動公園体育館

女子シングルス

尾形 瑠菜 1回戦敗退

○令和3年度国民体育大会置賜地区予選会  
日程…令和3年6月13日  
会場…川西町民総合体育館

男子シングルス

池内 春日(県大会出場)

○令和3年度国民体育大会山形県予選会  
日程…令和3年7月16日  
会場…河北町民体育館

男子シングルス

池内 春日 1回戦敗退

演劇部

顧問 成澤 久美  
佐藤 多恵  
江本 一男

コロナ禍において「演劇」を

上演することは大変ハードルが高いものでした。セリフを覚えることは個人でも出来ますが、役者の段取りやスタッフワークは全員が揃わないとなかなか進みません。大声での発声も必要ですが、飛沫感染防止のためそれもままならない。思うように練習がはかどらない中ではありましたが、今年は昨年延期した校内公演1本、食育子どもミュージカル公演1回、そして地区・県大会出場と合計4回の公演を上演することができました。体育文化後援会の皆様のご支援のおかげでもあります。また、踊りを披露する演歌ショー公演は川西町・高島町・米沢市において4回実施できました。公演の実施にあたっては、参加する私たちもそうですが主催者がコロナ感染防止の対策を講じ、演じる側も観る側も安心して参加できるように心を尽くしてくれ

8

ました。役者にとっては、目の前にいる観客の反応、掛け声、笑顔が何よりの力になります。そのような機会を持つことが出来たことに心より感謝申し上げます。特に主力となる3年生4名は自身の進路活動と並行して大会に臨んでくれました。最後までより良いものを作り上げようと努力する姿勢は、後輩たちの善き見本になったと思います。今後1、2年3名という少人数での活動になりますが、新たに何が出来るかを共に考えていきたいと思っています。



## 大会結果報告

### ○大会作品

『かま猫と天神森の鳥』  
作・成澤久美

置賜地区大会

日程・9月26日

優秀（県大会出場）

山形県大会

日程・10月28日～31日

優良

### ○食育子どもミュージカル

『海賊とヒミツの宝物』

作・成澤久美

日程・8月18日

会場・高島町 糠野目生涯学習館

### ○演歌ショー

日程・10月10日

会場・川西町 川西町小松地区・川西ゆうう大学

日程・10月16日 置農祭

日程・11月13日 川西町芸術文化祭

会場・米沢市 中部コミュニティセンター・ふれあいいきいきサロン

日程・11月13日

校内公演『交番へ行く』

作・大垣ヤスシ

日程・5月13日

吹奏楽部

## 顧問

木村 征子  
齋藤 明子  
増 圭子

大変な世の中になったが、昨年よりは感染予防もできるようになり、活動の幅が広がるかと思いきや、まだまだ自由に演奏する事は叶わなかった。地域



のイベントや老人福祉施設への慰問もできず、昨年に続いて応援していただいている方々への感謝や、自分たちの演奏で元気になっていただく機会がなかったことは、やはり残念なことである。8人しかない部員だったが、いつも元気に楽しく、たった一人の3年生を中心に活動を行ってきた。初心者や高校で楽器が替わって活動している部員が多く、「3歩進んで2歩下がる」くらいゆっくりではあったが、確実に上達していき、仲間と合わせて練習をする楽しさも感じていたようである。

顧問として今年度どうしても取り組みたいことがあった。それは昨年度できなかった「定期演奏会」を開催する事だった。3月に卒業したOBにも出場してもらい、2年分の思いを詰め込んだ演奏会。部員と顧問合わせても10名前後。その前の卒業生の協力も得られて総勢17名での演奏会は1時間半ではあったが、置農吹奏楽部らしい、温かくアットホームな雰囲気、演奏会を開催する事ができた。卒業生は放課後や土日の練習時間に合わせて足を運んでくれ、部員を音で支え、部員は先輩方の音に合わせる楽しさで充実した時間を味わわせてもらえたと思う。観客は、学校関係者と保護者・家族のみだったが、涙を流してくれた方もいて、部員の想いが伝わったいい演奏会だったと思う。このような機会を大切に守っていかないと改めて思った時間になった。来年はよりたくさんの方の前で演奏できたら嬉しく思う。

## 大会結果報告

○川西町音楽見本市

日程・11月13日

会場・川西町フレンドリープラザ

○置農吹奏楽部第17回定期演奏会

日程・12月26日

会場・境見山学舎

## 美術部

顧問 岩松 祐子  
坂 由美

体育文化後援会賛助会員、特別会員の皆様には、日頃より御支援を賜り感謝申し上げます。今年度の美術部は、3年生8名、2年生3名、1年生2名の合計13名で活動してきました。前半は、美術展へ向けての油絵



の制作を中心として、1・2年生は地区実技講習会へ参加し、スケッチの構図の仕方や油絵の色の出し方などを専門の先生に教えていただきながら、自分なりの工夫を重ねながら取り組みました。2・3年生の今年度の目標は、「昨年度を超える作品を目指し、一筆でも多く重ね、背景の細部まで丁寧に仕上げ」とし、一人一人が意識し、時間ももしっかりかけて取り組み、目標を達成することができました。作品を仕上げた後の生徒の表情や、置賜地区高等学校美術展、山形県高等学校総合文化祭における3年生の授賞により、それが証明されたと思います。

見られました。来年度へ向けて、持ち前の集中力と持続力を持ちながら、発想や想像力を豊かに新しい作品制作に挑戦し続けて欲しいと思います。

## 大会結果報告

### ○置賜地区高等学校美術展

日程…令和3年8月3日～8日  
会場…よねざわ市民ギャラリー ナセBA

#### 奨励賞

油彩画『もう一度』  
食料環境科3年 安部 楓

### ○山形県高等学校総合文化祭

日程…令和3年10月8日～10日  
会場…山形県体育館

#### 努力賞

油彩画『アオウミウシ』  
生物生産科3年 青木くるみ

## アグリサイエンス部

### 検定班

顧問 木村 和彦

今年度のアグリサイエンス検定班は、3年生14名、2年生4名、1年生3名でスタートしました。特に3年生は、人数も多く個性も強い生徒が見られ、いずれかの部に必ず所属しなくてはならないため、意欲の低い生徒もみられました。そのため、部の目標を「無遅刻、無断欠席をなくす」とし、まずは基本的な事から確実に身に着けられるよう決定しました。また、もう一つの目標を「検定試験を2種

目以上受験し、準2級以上の取得を目指す」としました。自分に甘えることなく、積極的に取り組んでほしいとの思いから決定しました。

なかなか改善できない生徒もいましたが、全体として少しずつ改善しているようでした。目標をしっかりと持ち、放課後遅くまで取り組む生徒も見受けられるようになりました。それらの生徒は確実に実力をつけ、多くの資格を取得することが出来ました。あらためて日々の練習の積み重ねが大きな力となり、向上心を持って努力することで新たな道を切り開くことが出来る」と実感しました。



### バイオ班

顧問 遠藤 忠樹

植物バイオの研究活動  
バイオ班はこれまで「ダリア

## 畜産班

顧問 鈴木 隆英

今年度も、夕方の搾乳実習を中心とした活動となりました。毎年出場している共進会が軒並み中止となり、生徒の活躍の場がなかなかありませんでした。そんな中、ヤマラク同志会主催のフォトコンテストに参加でき、見事5部（初産牛のクラス）で優勝することができました。日頃の改良と生徒の頑張りの成果がでたのだと思います。今年は、新入部員が4名加わり、8名での活動となりました。女子部員が増えましたが、新しいレール付きの牛舎で快適に作業ができています。今年の一番の成果は、ハイスクールオキノー アットウッド ドリーム が体型審査で本校2頭目、自家産初の90点（エクセレント）を獲得することができたことです。これも、日頃の管理の成果だと思います。来年度は鹿児島県で開催される

のウイルスフリー化」と「キクの培養」に取り組んできました。植物バイオテクノロジーを学ぶ活動で習得した「培地作成」「無菌操作」「顕微鏡操作」「生育調査と観察」など専門的な技術と知識を身に付け地道に継続して取り組みました。今年度も「置農祭」で研究内容ポスター発表できました。部員一人ずつテーマごとにまとめ上げ展示できたことは活動の記です。

部員は6名（一年3名、三年3名）で3年生を中心として研究に取り組んできました。無菌培養は難しく、コンタミ（組織培養でカビ等が発生すること）もありましたが、最近ではほぼ確実にできるようになりました。部長はじめ3年生のリリーダリッシュがありまじめな部員ばかりです。培地作成と無菌操作も習熟し正確な実験ができるようになり、今後の活動に弾みがついています。



体育文化後援会会員の皆様には、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

今年度の生活部は、一年生三名、二年生四名、三年生九名の十六名での部活動となりました。個人製作活動の他、一人ひとりの活動意欲を高め、部活動を通して被服に関わる知識や技

## 生活部

顧問  
穴戸香葉子  
坂由美



全国和牛能力共進会に出場予定です。乳牛でも和牛でもハイスクールオキノーの名を全国に広めていきたいと思っています。また、多くの皆様に見学に来て最新の施設と優秀な牛たちを見て頂きたいと思います。



術の定着をより図ることを目標に、今年度より被服技術検定を全員が取得することになりました。一、二年生は四級、三年生は四級と三級に取り組みました。真剣な練習や熱心な学習によって、受検者全員が合格できました。現在、一、二年生はすでに来年度の三級受検に向けて実技練習に励んでいます。

検定の練習や筆記試験の学習を通して、自己の知識や技術の向上ができただけでなく、部員同士教え合い切磋琢磨する様子も見られました。検定後の個人製作を含め、学年を超えた交流もあり楽しく、充実した活動となりました。

## 「置農生徒会～コロナに負けないぞ！ Revolution!～」

令和3年度生徒会長 高橋小雪

今年度の生徒会は「Revolution」をスローガンとして掲げ、運営を行ってきました。中でも思い出深いのが文化祭運営です。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催になりましたが、役員一同丸となって運営に取り組むことができました。準備期間に各クラスの様子を撮影し編集した生徒会企画の動画では、どのクラスも協力し合う場面が多くみられ、温かい気持ちになりました。また、クラス展示だけでなく校内装飾に取り組む中でも、クラスの枠を超え、学校全体が一つにまとまっている感覚を肌で感じました。文化祭運営に取り組む中では役員間で声を掛け合い、助け合いながら活動していく姿に、生徒会長として感動を覚えたことが昨日のように思い出されます。

さて、今年度の生徒会は「全校生が楽しめる活動をする」ということを念頭に置いて活動をしてまいりました。今年度の活動が皆さんにとって楽しく、思い出に残るものになっていたら幸いです。

最後になりますが、置農生のみなさんには、今年一年間、新型コロナウイルスという未曾有の危機を全校生で乗り切ってきたという自信を持ってほしいと思います。来年度以降も、お互いが寄り添い合い、置農生徒会が更に発展していくことをお祈りし、挨拶とさせていただきます。



# 2021 おきのう農々の活躍

## 農業鑑定競技会に 出場して

生物生産科2年 中村 元弥



私は農業鑑定競技会に校内代表として出場してきました。選ばれた時は「冗談で言っているのでは？」というくらい驚きました。それから毎日、放課後の少ない時間を使い、先生方からのご協力を頂きながら学習しました。しかし、栽培用具の名称や雑草の名称は覚えることができたものの、より専門的な分野に進めば進むほど難易度が上がり、次第に学習は困難になっていきました。大会が近づいたころ、まだ共通の範囲しか終わってなかった私は、先生から「代表の自覚を持って」と言われました。案の定、競技会本番では勉強不足が露呈してしまったのに加えて、問題のレベルが高く、全国の壁を痛感しました。難しいとは聞いていましたが、まさかここまで難易度が高いとは思っていませんでした。しかし、このように感じたのは全国大会だということもありますが、やはり自分の甘さが原因だったと実感しています。日頃の生活リズムも少なからず関係していたと思います。今回の経験を通して、私は来年また農業鑑定競技会に挑戦しようと思っています。「代表に選ばれる」という自覚を持ち、精一杯頑張っていこうと思います。

## 意見発表東北大会 優秀賞受賞の喜び

食料環境科3年 高橋 小雪



私は1年生の時、意見発表の県大会に出場しましたが最優秀賞を逃し、東北大会に出場できませんでした。その時の悔しさが忘れられず、いつか東北大会や全国大会に出場したいと思っていました。しかし、昨年は新型コロナウイルス感染症のため、大会が中止に追い込まれ、残るチャンスは今年だけになってしまいました。私が取り組んできた課題研究は、地域の子供たちに食を提供する取り組みで、こども食堂やこども農園、さらに食育活動が主でした。中でもこども食堂は、2年生の7月から取り組み始め、地域のお母さん方やNPO法人とも連携した活動に育っていました。この取り組みや将来の夢を「見つけた！子どもの食や健康を支える夢」という演題で発表し、県大会で最優秀賞を受賞したときは、とてもうれしく感じました。次は東北大会です。完全に発表原稿を暗記して、自信をもって大会に挑みました。しかし、発表後の質疑応答で質問を勘違いした私は、残念ながら最優秀賞を逃してしまいましたが、優秀で、私の後に発表した青森県代表の方が最優秀で、その人は全国大会で一位になったと聞き、今でも残念な気持ちが続きます。それでも、大学に進学し、将来は役職職員になるという夢が、はつきり見えただけで意見発表に取り組んでよかったと思っています。

## 東北連盟大会クラブ活動紹介 発表優秀賞を獲得して

食料環境科2年 安部 尋



私たちは農業クラブ事務局は、山形県の代表としてクラブ活動紹介発表東北大会に出場しました。置農フアンクラブや小松小学校などの食育活動、東北グリーン名花展金賞受賞や花き産業総合認証MPSの取得、全国農業高校お米甲子園最高金賞受賞など、これまで置農生が取り組んできた様々な活動の成果を発表してきました。私たちは発表に向けて、放課後や夏休みを活用し練習に励みました。特に、声の大きさやスピード、正しいイントネーションなどに気を付け、聞きやすく、伝わりやすい発表を目指し何度も練習を重ねました。また、多くの先生方に発表を聞いて頂き、助言や励ましの言葉を頂くことで、本番に向け自信をつけました。発表本番では、キーワードとなる大事な言葉を強調し、抑揚をつけて発表することを意識しました。今年度は新型コロナウイルス予防のため審査員の方々の前でのみの発表となりましたが、とても緊張しました。そのため、話すスピードが少し早くなってしまった場面もあり、悔しさが残る大会となりました。しかし、私たちが残る大会となりました。そして、今後は農業クラブ活動において大きな力になると確信しています。来年度も置農生の活躍をサポートしていけるよう努力していきます。応援ありがとうございます。

## 平板測量の大会に出場して

食料環境科3年 千葉 嶺光



私はサーベイコンテストにおける平板測量部門に出場し、いろいろなことを学ぶことが出来ました。この県大会では工業高校も参加しており全体で県3位、農業高校で県2位という結果を残すことが出来ました。この結果を残せたのは、たくさんの方々の努力があったからだと思っています。学校が終わった放課後に部活の時間を削って練習したり、夏休みに学校に来て練習したりしました。とても大変でしたが楽しかったです。そして、平板測量のチームの絆もより深まったと私は感じています。私はこの平板測量の大会に出場するまで測量がとても苦手でしたが、仲間と練習を重ねていくうちに平板測量の楽しさが分かっていき、だんだんと好きになっていきました。大会ではポールマンをしました。ポールマンは、観測者が測点を測るときに必要で、大事な役割です。姿勢をしっかりと真つすにすることが必要だったので、猫背の自分には正直厳しかったのですが、おかげで猫背が少し直りました。本番では緊張しましたが、その緊張までも楽しんで「当たって砕けろ」の精神で本番に臨み、いい結果を残すことが出来ました。来年の二年生、三年生も出場すると思うので頑張ってください。



## 最初で最後の県プロジェクト 発表会「最優秀賞」

園芸福祉科3年 鈴木 梨夢

私は、高校生活の中で最初であり最後の機会となった県プロジェクト発表会に参加してきました。全てが初めてのことばかりで負担と苦労との戦いでした。記録簿を何十枚も書きながら、発表原稿の暗記に追われていました。放課後も毎日取組み「私は今なんてこんなことをしているのだろう」とふと考えてしまう日もありました。

それでも、一緒に発表の練習をしていた1年生が一生懸命練習をしている姿を見て、私も頑張ろうと勇気を貰いました。そして迎えた県発表会。本番は緊張が楽しいに変わり、楽しむことができ、絶好調。今までの練習の中で一番良い発表をすることが出来たと思います。私達も思わず「良かったね」と発表後に話してしまうほどでした。

成績発表では、緊張が走る空気の中で、「最優秀賞」を頂き、これまでにないような大きな喜びに包まれました。高校生活の中で一番素晴らしい思い出として心に残りました。



## 県大会最優秀で後輩にバトンをリレー

食料環境科3年 高橋 小雪

農業クラブ東北大会の意見発表で最優秀賞を逃して以来、私はターゲットをプロジェクト発表県大会に絞っていました。私たちが取り組んでいた課題研究が、どの学校にも負けない内容だということとは自信があったし、全国大会でも通用すると思っていたからです。でも、私にはその事を証明するチャンスがありません。それならば、後輩に夢を託したいと考えました。

夏休み以降もこども食堂やこども農園に取り組み、課題研究の間にももちろん、2年生にも協力してもらいながら、活動を広めました。ボランティアスピリット賞のコミュニケーション賞受賞もあり、様々な形で評価されたプロジェクト発表の県大会が訪れました。私は佐藤静香さんや山家

歩さんと何回も練習を重ね、最高の発表ができたと思いました。結果は最優秀賞受賞。「農業学習を活用したこども食堂と食育活動」コロナ禍に負けない農福連携への挑戦」という素晴らしい課題研究を後輩に残すことができました。バトンを引き継ぐ後輩のみなさん、来年は東北大会や全国大会で、置農の名を轟かせてください。



## ふるさと探究コンテストで学んだこと

園芸福祉科1年 伊藤 南

「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト（山形教育委員会主催）」にダリアの研究でエントリーしました。高校生の部9チームから決勝3チーム（本校、村山産業高校、山形東高校）に選ばれリモートでの発表となりました。実際に会場で発表するのは違い、リモートでの発表は話している雰囲気や伝わり方や審査員の表情を見ることができないので緊張しました。ですが、練習した以上の発表をすることができました。私が練習の際に頑張ったことは4つあります。1つ目は、言葉に強弱をつけ、伝えたいことをわかりやすくすること。2つ目は、間をとること。3つ目は、きりと聞こえるように滑舌よく話すこと。4つ目は、自分の持ち時間を最後まで使い発表することです。

発表練習で特に練習したところは間の取り方です。なぜなら間の取り方の違いで言葉に強弱をつけたところがさらに引き立ったり、聞き取りやすくなったりすることを知ることができたからです。原稿を読むだけでなく、理解しながら想像して話すことで表現の仕方も変わり、伝わりやすくなることを学びました。結果はグランプリ（探究大賞）を受賞することができました。

来年度は農業クラブプロジェクト発表の東北大会へ県代表として出場することが決まっています。探究コンテストで学んだことを活かしてさらに上位大会での発表ができるように頑張りたいです。



## 令和3年度 農業クラブ各種大会成績

### ◆第72回 日本学校農業クラブ全国大会 兵庫大会

#### 〈プロジェクト発表会〉

◎分野Ⅲ類 出場 「上杉鷹山公から受け継がれた“むくり鮎”を守れ～伝統の食文化継承大作戦～」  
食料環境科3年 高野瑚々亜、青木 祥汰、佐藤莉々輝、白田 光星、西村 明純、原田 尚弥

#### 〈農業鑑定競技会〉

◎分野 農 業 出場 生物生産科2年 中村 元弥  
◎分野 園 芸 出場 園芸福祉科2年 竹田 真美  
◎分野 農業土木 出場 食料環境科3年 貝沼 拓海

### ◆第72回 日本学校農業クラブ東北連盟大会 宮城大会

#### 〈プロジェクト発表会〉

◎分野Ⅲ類 **最優秀** 「上杉鷹山公から受け継がれた“むくり鮎”を守れ～伝統の食文化継承大作戦～」  
食料環境科3年 高野瑚々亜、青木 祥汰、佐藤莉々輝、白田 光星、西村 明純、原田 尚弥

#### 〈意見発表会〉

◎分野Ⅲ類 **優秀賞** 「見つけた！子どもの食や健康を支える夢～食と愛をつなぐ農福連携活動から学んだこと～」  
食料環境科3年 高橋 小雪

#### 〈クラブ活動紹介〉 **優秀賞** 「農業クラブ活動を通して、農業の魅力を感じてもらい、後継者を増やすためには何ができるか。」

食料環境科2年 安部 尋、高山 卓真、羽島実乃里、生物生産科2年 池内 春日

#### 〈平板測量競技会〉 出場

食料環境科3年 千葉 嶺光、塚田 浩人、八鍬 優介、山賀 潤幸

### ◆令和3年度 山形県学校農業クラブ連盟大会

#### 〈プロジェクト発表会〉

◎分野Ⅰ類 **最優秀** 「ダリアのウイルス病対策による品質と収量向上に関する研究」  
園芸福祉科3年 鈴木 梨夢、高橋 優華、尾形 瑠菜、島津 通、中村乃々佳、竹内 エナ、新國詩緒莉  
園芸福祉科1年 伊藤 南、佐藤 未悠、松田 瑞姫

◎分野Ⅰ類 **優秀** 「有機農業プロジェクト2年目」  
生物生産科3年 石川 響、佐藤のどか、滝口 和泉、戸田勇太郎、仲山 渉馬、吉田 美咲  
生物生産科2年 梅津 龍司

◎分野Ⅰ類 **優秀** 「有望品種の可能性を探る～2年目の挑戦～」  
生物生産科3年 井上 大誠、神山 夕菜、高橋 颯、細谷 航、渡邊 涼雅  
生物生産科2年 長澤 拓人、島崎 健太、横山 淳美

◎分野Ⅱ類 **優秀** 「SDGs×『ニオイ木』プロジェクト」  
園芸福祉科2年 菅井 歩夢、高橋 歩美、高橋さくら、竹田 真美、高石 寧音、高橋まどか

◎分野Ⅲ類 **最優秀** 「農業学習を活用したこども食堂と食育活動～コロナ禍に負けない農福連携への挑戦～」  
食料環境科3年 高橋 小雪、佐藤 静香、山家 歩  
食料環境科2年 安部 尋、石崎 柚希、安部 善映、佐藤 風馬、淀野 海翔

#### 〈意見発表会〉

◎分野Ⅰ類 **優秀** 「私が目指す未来の農業経営」  
生物生産科3年 皆川 太平

◎分野Ⅰ類 **優秀** 「川西町ダリア緊急事態宣言～置農ダリアで目指す消費拡大プロジェクト～」  
園芸福祉科3年 鈴木 梨夢

◎分野Ⅱ類 **優秀** 「快適な環境を創造する『ニオイ木』の開発と保全から学んだこと」  
園芸福祉科2年 菅井 歩夢

◎分野Ⅲ類 **最優秀** 「見つけた！子どもの食や健康を支える夢～食と愛をつなぐ農福連携活動から学んだこと～」  
食料環境科2年 高橋 小雪

#### 〈平板測量競技会（サーベイコンテスト）〉

Aチーム 第2位 食料環境科3年 千葉 嶺光、塚田 浩人、八鍬 優介、山賀 潤幸  
Bチーム 第5位 食料環境科2年 市川 唯人、小野 柊羽、加藤 颯人、坂田 友希

#### トータルステーション 出場

食料環境科2年 遠藤 潤哉、大江 陽、船山 大成、村山 匠

#### 〈情報処理競技会〉 出場

生物生産科3年 井上 拓海、島貫 裕基

食料環境科3年 塚田 浩人

### ◆全国農業高校お米甲子園 **特別優秀賞** 生物生産科作物部門

### ◆ボランティア・スビリット・アワード **コミュニティ賞** 食料環境科食愛グループ

### ◆バイオ普及会主催 **第5回高校生科学教育大賞 優秀賞** 園芸福祉科ダリアグループ

### ◆郷土Yamagataふるさと探究コンテスト **最優秀賞** 園芸福祉科ダリアグループ

### ◆第19回PEAS Webアニメコンテスト神戸 **株式会社リオ優秀作品賞** 食料環境科3年 塚田 浩人 **だんグラ賞** 生物生産科3年 井上勝太郎



## 今年度の農業クラブ

食料環境科2年 高山 卓真

今年度、私たち農業クラブ事務局は農業クラブ活動を成功させるために、事務局員同士で様々な意見を出し合い、工夫を重ねながら活動を展開しました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で置農ファンクラブや各種競技会が相次いで中止となり、我慢の一年となりました。今年度も様々な制約があり、コロナ禍前のような活動とまではなりませんでしたが、

それでも、農業クラブ事務局員で感染対策を徹底し、合計6回の置農ファンクラブを実施、各種競技会校内大会も実施することができました。校外活動においても、県連夏期研修会へ参加し、県内の農業関係高校の生徒の皆さんと自校の活動について話し合うなど、大変有意義な研修・交流ができました。また、東北夏期研修会は初のオンライン開催で行われ、新しい交流の形を実現することができました。各種競技会では、宮城県での東北大会、兵庫県での全国大会、いずれも予定通り開催され、今年も置農生はすばらしい成果をあげることができました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は来年度以降も続くことが予測されますが、こうした状況だからこそ、置農生の底力を発揮し、応援してくださる皆さまの期待に応えられるような活躍をしていきたいと考えています。

## 一意専心の活動に 誇りを持ち

体育文化後援会会長 伊藤 進



収束すると思われていたコロナ感染症に、新たなオミクロン株というものが

出現し蔓延してきていることは、活動を活発に行こうとすることを、再度抑え込まれてしまうようで、残念でなりません。しかし、今年度、本校における体育文化活動での皆さんの活躍は、そのコロナ感染症までもはねのける活躍ではなかったのかと思います。

本後援会もコロナ禍の中、厳しい状況ではありましたが、選手の育成強化、大会派遣支援、活躍顕彰等、継続した取り組みを行うため、保護者の皆様からの会費、特別会員、地域有志、教職員各位の賛助金等、皆様から多額のご厚志を賜りましたこと、真にありがとうございます。

今回もコロナ禍の中での大会で、様々な危惧されたことはありましたが、万全な体制で臨んだものと思っております。

男子ホッケー部はインターハイ東北予選兼東北高校ホッケー選手権大会優勝。インターハイホッケー競技ベスト8（第5位）。高校選抜ホッケー東北予選大会優勝で3年連続5回目。昨年末に開催された全国選抜大会出場は5年連続12回目。大会結果はベスト8であるが、コロナ感染症が終息していない状況下では快挙ではないかと思えます。

学校農業クラブでは《むくり鮎研究チーム》が「上杉鷹山公から受け継がれた、むくり鮎」を守れ、伝統の食文化継承大作戦」として第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会プロジェクト発表会

分野Ⅲ類最優秀で全国大会に出場。《ダリア研究チーム》がバイオ普及会主催・第5回高校生科学教育大賞優秀賞。郷土Yamagataふるさと探究コンテスト最優秀賞。県学校農業クラブ連盟大会プロジェクト分野Ⅰ類で「ダリアのウィルス病対策による品質と収量向上に関する研究」で最優秀賞。《食愛プロジェクトチーム》が、県学校農業クラブ連盟大会プロジェクト分野Ⅰ類で「農業学習を活用した子ども食堂と食育活動」コロナに負けない農福連携への挑戦」で最優秀賞。ボランティア・スピリット・アワードではコミュニティ賞。《作物部門》は、米どころ山形をまた広めることとなり、全国農業高校お米甲子園で特別優秀賞。《農業クラブ意見発表》で、食料環境科3年高橋小雪さんが「見つけた！子どもの食や健康を支える夢、食と愛をつなぐ農福連携活動から学んだこと」と題し第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会意見発表分野Ⅲ類優秀賞。

このように活躍された生徒の皆さんはもとより、日頃から全校生徒があらゆる分野で力を合わせて、目標に向かって一意専心で活動しているからだと思います。

自分たちが取り組んできことを誇りに、様々な事にチャレンジされることを願うものです。改めて関係各位の皆様にご協力をお願いして感謝申し上げます。挨拶と御礼に変えさせていただきます。

## 新しい芽を大事に育て、 未来に向かって果敢に攻める

校長 鈴木 通明



置賜農業高等学校体育文化後援会の皆様には日頃より本校を強力に支えてい

ただき、心より感謝申し上げます。今年度は昨年度よりも様々な活動を実施できしており、従来の活気も戻りつつあります。

さて、今年度の活躍を報告させていただきます。まず部活動ですが、本校ホッケー部は今年も圧倒的な強さで東北高等学校総合体育大会を制し、4年連続22回目のインターハイ出場を決め、堂々ベスト8まで勝ち上がりました。また、10月に行われた東北高等学校選抜大会においても優勝し、全国大会でも再びベスト8の座を勝ち取りました。他の運動部も部員不足等様々な問題を克服しながら精力的に活動していますし、茶道・生活部の置農祭での立派な展示、美術部の各種受賞など文化部も頑張っております。さらには外部での発表機会がある演劇部、吹奏楽部もコロナ感染防止対策を取りながら堅実の活動し、地域で多くの方々が高い評価を得ていることは本校が十分自慢できることです。

農業クラブの活動も相変わらず活発で、全国でもトップクラスのレベルを誇る本校の研究は各種大会で優秀な成績を収めています。令和3年度「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」ではダリア研究班の「ダリアのウィルス病

対策」に係る研究でV2を達成するとともに、山形県プロジェクト発表会でも、本校の「農業学習を活用した子ども食堂と食育活動」と合わせて最優秀賞を獲得しています。また、日本学校農業クラブ東北大会では「むくり鮎」の伝承についての発表が最優秀に輝き、兵庫県で行われた全国大会に出場しました。

最近特にうれしく思うことは、これらの活動が単にコンテストで入賞するにとどまらず、その内容が地域内外からこれまで以上に注目されるようになってきたことです。今年度、第36回時事通信社「教育奨励賞優良賞」（全国すべての小中高校で3校）という名誉な賞をいただきました。この賞は本校教育の核として長年取り組んできた、ゼミ形式の課題研究の地域への貢献が高く評価されたものですし、本校とは縁もゆかりもない森林ジャーナリストが、インターネットのブログで本校の「ニオイ木」の研究を絶賛したり、環境改善に力を入れている町の取り組みへの学校全体としての参画も依頼されていることなどもその証です。このような芽を大事に育て、本校生の活躍の場がさらに広がることを期待するところです。

今後とも置賜農業高校は長い歴史に刻まれた珠玉の功績を誇りに、様々な逆境に果敢に挑む姿勢を崩さず、新しい時代に向けて邁進する所存です。体育文化後援会の皆様のご協力は、紛れもなく本校の教育活動の原動力となります。これからのますますのご支援をお願い申し上げます。

(敬称略)

(株)本多建設

(株)吾妻スポーツ

令和4年2月21日現在



（敬称略）

岸  
淳一郎

◆教職員

菊小菅吉小沼柴青佐齋日金  
地川野田野澤崎木藤藤下部子  
勝悦誠直庄久與惣衛門友道一  
司男一史士章浩誠久雄郎

梅畑海相渡後井新山大柁安江木大今阿鈴大齋竹木土遠今加菅佐齋庄上壇  
津田野田部藤上野川場沢部本津友野部木木藤田村屋藤井藤野藤藤司野  
千し幸 令卯由良健 龍一愛康友勇隆裕曜倉和裕忠康琢 多慎典真圭  
秋の子了修興夢紀子次矢歩助男野平美郎英輔介一彦子樹広哉拓恵吾仁二子

あとかき

目に見えないウィルスが存在が、私達を取り巻く生活にこれほどまでの影響を及ぼすとは、誰が想像したでしょうか。毎体温度を計測し、互いに距離を置き、黙食という言葉が流れ、マスクをするのが当たり前の日常となりました。一変した生活様式は、生徒の体育活動、文化活動、農業クラブ活動に多くの制限がかかり、大会やイベントの開催が見通せない中、生徒は不安を抱えながら日々の活動に取り組むしかありませんでした。

それでも、感染防止対策を講じることで開催の可能性が見え始めた年でもありました。対策を講じると言えば簡単ですが、そこには想像以上に多くの方が関わり、悩み、熟考して実施に至っております。大会やイベントが開催されることを当たり前と行わず、支援していただいている審判の方や運営スタッフの方へ思いを巡らし、感謝の意を表すことがとても大事であることを再認識したところです。

そして体育文化後援会も、本校運動部や文化部活動、農業クラブ活動を支援して頂いている大切なみなさんの応援団です。このような状況下でも、例年と変わらずご支援頂いた会員の皆様には、感謝の言葉しかございません。心より感謝申し上げます。